

開催日時	会名	開催場所
2009年 6月 25日 (木)	第7回全体会	東医健保会館
18:00~20:00		3階会議室
配布資料	プログラム、分科会活動の経緯、分科会活動報告資料(入門分科会、DPC分科会)、個人情報と診療情報管理、診療情報管理勉強会メンバー募集、第7回全体会アンケート	
出席者	飯田先生、長谷川先生、栗田先生、勉強会メンバー23名、計26名	
欠席者		
テーマ		
第1部 分科会活動報告 統計分科会、DPC分科会、入門分科会		
第2部 講演会		
講演「個人情報保護と診療情報管理」		
経過		
第1部 分科会活動報告		
・分科会活動の経緯の説明 詳細は、資料「分科会活動の経緯」参照		
・診療情報管理勉強会メンバー募集		
当勉強会につき、院内外への紹介を依頼 詳細は、資料「診療情報管理勉強会メンバー募集」参照		
① 統計分科会 診療情報管理士の苦悩 ～共に悩み、共に解決へ～		
<2008年度テーマ・活動内容・成果>		
1. 伝統的に作成している統計も含め、各資料がどのような意味を持つのか整理		
他院と比較するのに適している分類表 ⇒ a, b, c 分類		
2. 平均値や中央値の利用のように、統計処理のスキルアップ		
数値の持つ意味 ⇒ 注釈をつけると数値が活きる		
3. 病院機能も考慮しつつ、同じ指標への取り組み		
他院と比較して得たもの ⇒ 自院の特徴の認識		
4. 療養病棟の指標模索		
5. 診療情報管理士であるからこそできる仕事を 再考、再確認		
病院機能を考慮した情報提供とは ⇒ 病院での診療情報管理士の位置を確立		
<2009年度テーマ・目標>		
昨年度テーマ(上記) 1. 2. 5に沿って活動の予定		
1つのデータ(1医療機関)を各自の視点で加工し、データに解釈を付け説明し、何の統計を作成したいのか目的を明確にし、データの使い分けを訓練する。これにより、1人1人のスキルアップになり、質の高い(利用価値の高い)統計が作成できる		

【質問】 a, b, c 分類が適している理由は何か？

【回答】 厚労省の患者統計などはこの分類に基づいたものである。疾病コードを分類にそのまま利用すると細かすぎて比較しにくい（c 分類を使用するのがちょうど良いのではないか？）どの分類を使用するかによりデータの見え方が大きく異なるので目的によって使用する分類を検討する必要がある

② DPC 分科会

<2008 年度テーマ・活動内容・成果>

各医療機関における比較～DPC 運用の標準化を目指して～

1. 各医療機関におけるDPCの運用方法
2. 各医療機関における診療情報管理士としてのDPCへの関わり方

上記を踏まえ、DPC 運用の分担表を作成（配布資料参照）

<2009 年度テーマ・目標>

1. コーディング委員会について
2. ICDコーディングの質について

意見交換、情報交換を行い、外部情報収集の場として活動していく予定

【質問】「.9 コード」は必ずしも質が悪い訳ではないという点について説明を

【回答】 新生児のビリルビン血症は P599

新生児の入院が多い病院においては上記の症例が多くやむを得ない「.9 コード」である
合併症のない糖尿病なども同様。他にも同様な事象が見受けられるため調査の予定

③ 入門・基礎分科会 入門～スペシャリストへの道 (Plan Do See)

<2008 年度テーマ・活動内容・成果>

1. 診療情報管理業務について
2. 診療情報管理を始めるためには（診療録管理体制加算取得について）
⇒2 施設が加算取得
3. 「組織図」「診療記録管理規定」「診療記録管理委員会規定」を題材に意見交換
⇒他院との比較により再考出来た
4. 病院見学（病歴管理室の見学）
⇒他病院の実情把握で業務改善に繋がった

<2009 年度テーマ・目標>

1. 病院機能評価総合版評価項目 V6.0 診療記録の管理について
2. 診療情報管理に関する日常の業務・疑問などについての意見交換

病院機能評価総合版評価項目の診療記録・情報に関する項目別に自院・他院の状況を把握し問題点・改善点などをあげ、全体の施設の状況を把握した上、参加者で解決の方向（方法）を議論する。今後は病院情報（病床数・年間退院数・病床種別等）を含めた一覧表を作成する

・第5回 東京都病院協会学会について (演題募集)

日程：平成22年2月14日(日)

※詳細は決定次第ホームページなどでご案内

第2部 講演会

講演「個人情報保護と診療情報管理」

診療情報管理委員会 委員長・練馬総合病院 院長 飯田修平先生

資料参照

【質問】情報システム運用管理について縛りすぎたとのお話がありましたがどのような点か

【回答】実施すべき内容を詳細に規定しすぎた。決めすぎると業務がまわらなくなる事もある。どこで折り合いをつけるのかが重要。各々の病院の状況に合わせて規定する事が大切。

【質問】DVを受けている女性の子どもが入院し、偽名を使用して欲しい旨の要望があった。このようなケースの最善の対処法は何か

【回答】対外的には偽名を使用し、カルテ・保険申請などは本名を使用。カルテに本名とは別に仮称として偽名を記入するのがよいのではないか

【質問】現場で「本人だ」という人物から入退院や病名について教えて欲しいとの依頼があった場合の対処について

【回答】本人である事が明白な場合はその場で教えてしまって構わない。不明な場合は、「確認して後ほど連絡する」等とし、本人の連絡先に連絡する対応がよいのではないか

【質問】「医師の所見」は医師の個人情報であると聞いたことがあるが、カルテ開示の際の考え方はどのようにするのか

【回答】医師の所見は、医師の個人情報ではない。しかし、患者の個人情報となるので、その取扱いには他の個人情報同様の取扱いが必要となる。

【質問】個人情報を使用する際に、匿名化すれば同意書は不要との事であるが、学術研究などで使用する際に同意書は必要か

【回答】1件1件につき同意書の可否を検討するのではなく、包括的な同意書で対応すると良い(練馬総合病院にて実際に使用している誓約書参照)

・鹿児島 全日病学会 ランチョンセミナー開催

日時：11月21日(土) 12時～13時

会場：城山観光ホテル(鹿児島市)

プログラム

1 概要説明

2 個人情報保護法の考え方とその運用の問題点 (弁護士 宮澤潤)

3 質疑応答

以上

次回テーマ

事項	第8回全体会	担当者		期限	
次回開催日	次回開催場所	議事録作成日	議事録作成者		
	東医健保会館	2009年6月29日(月)			